2021年5月7日

一般社団法人全日本グラススキー連盟

グラススキー場・グラススキークラブ活動における新型コロナウイルス対応ガイドライン

はじめに本連盟では皆様に、グラススキー場やグラススキークラブ活動等において、積極的な活動を継続していただける様に、感染対策・安全対策をここに定め、皆様に実施していただけることで、安心してグラススキーを楽しんでいただけることを願っております。
グラススキー等のグリーンシーズンのスポーツは大自然の清浄な環境の中で楽しむ個人スポーツで、いわゆる「三密」とは無縁です。移動、リフト、レッスン、宿泊、食事、休憩等にまでしっかり安全対策を実施し、皆様にもご理解ご協力をお願いいたします。

一般社団法人全日本グラススキー連盟は、下記の安全対策ガイドラインを策定しています。

具体的な感染予防対策

グラススキー場・リフト関係

1. 受付時やリフト待ちの列にいる場合には間隔をあける。
2. 乗車中もしくは近くに他のお客様やスキー場関係者等がいる場所では、マスク、ネックウォーマー又は手袋(以下、「マスク等」という）は着用したままにする。
3. 係員が搬器の乗車人数を決めることについて理解する。運行終了後に落下防止バー等の消毒をするのが望ましい。
4. 係員はマスク等を着用する。
5. 発券所・チケット購入者との間には、飛沫防止シート（アクリル板等）を設置する。チケット・金銭等を受け渡しする際には、肌が接触しないように受け皿等で受け渡しする。
6. レストラン、売店、レンタル等・係員はマスクを着用する。施設の入口及びトイレ入口等には消毒液を常備する。
7. レンタルについては、適切に洗濯、消毒する。特に手や口が触れるようなものについては特段の配慮を行う又はレンタルの対象としない等の措置をとる。
8. パトロール隊員は常にマスク等を携行し、救助活動をする際には、着用するものとする。救助活動で使用した備品（車両を含む）は使用後消毒する。

グラススキースクール

1. 受付・係員はマスクを着用する。

窓口には消毒液を設置する。

受付付近の飛沫予防対策を実施する。また、随時消毒（イス、机、筆記用具等）を行う。お客様同士が一定の距離を保てるスペースを確保する。定期的な換気を行う。

非接触型での決済方法を奨励する。

お客様の検温を行い健康状態の確認をする。発熱等の風邪症状や嗅覚味覚障害等が確認された際は入校をお断りする。事前予約のお客様には、各人の健康確認のお願いと、当日発熱等の風邪症状や嗅覚味覚障害等が確認された際は入校をお断りする場合があることを説明しておく。

（２）集合場所・屋外屋内を問わず、一定の距離が保てるスペースを確保する。

（３）レッスンの際、インストラクターはマスク着用又はネックウォーマーの類を口鼻まで上げて着用する。（熱中症に注意し、滑走時などマスクを外すなど工夫する）お客様の立ち位置及びインストラクターの立ち位置は、状況に応じて、他の滑走者に対しての安全が確保されると思われる範囲で距離を保つことを推奨する。

初心者・初級者・子供へのレッスンにおいては、濃厚接触に対して更なる留意を行う。特に呼気を近づけない事に留意する。また、共有する用具等については、留意事項を関係者と協議する。教育旅行等のグループレッスンは、学校・主催者の意向に留意する。

（４）屋内ミーティングは三密を避ける環境で行う。その環境が準備できない場合は屋内では行わない。教育旅行等においては、実施について学校・主催者の意向に留意する。

（６）屋内休憩・マスク着用又はネックウォーマーの類を口鼻まで上げて着用する。互いの距離が保てることを推奨する。

（８）感染発症の際の対策・発熱時及び発症が疑われる際の医療関係との連携を確認しておく。発熱時及び発症が疑われる際の隔離体制を確認しておく。

大会・講習会等イベント参加

(１)以下を周知、理解を求める。大会の２週間前から大会当日まで下記事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること。

・発熱(37.5°C以上)を認める。

・せき、のどの痛みなど風邪の症状がある。

・だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

・嗅覚や味覚の異常がある。

・体が重く感じる、疲れやすい等の症状

・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触歴がある。

・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる。

・参加14日前までに政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域　等への渡航歴がある、または当該在住者との濃厚接触歴がある。

（２）参加者においては「健康管理表」を、事前に記入してもらう。「健康管理表」の管理については、個人情報保護を遵守し、責任者が設定されている。インターネットやスマートフォンによる受付を推進し、現金の授受などが生じないような準備を行う

(３)参加中は本ガイドライン中の「グラススキー場・リフト関係」「グラススキースクール」の項目を参照する。

以上の内容守り、感染防止・安全対策を実施し、皆様にもご理解ご協力をお願いいたします。